

北東アジア動向分析

中国（東北三省）

急速で良好な発展を示す東北経済

2007年における中国の経済成長率は1～3月が11.1%、1～6月が11.9%、1～9月が11.5%のプラスとなり、高度成長が続いている。中国社会科学院の予測値では2007年全年は11.6%増と見込まれている（2007年12月16日）。

2007年の中国経済の中で注目されるのは記録的な物価上昇、株価の急上昇、度重なる金融引締めなどである。最も目を引くのは物価上昇で、中国国家统计局が発表した2007年11月のCPI（消費者物価指数）上昇率は、前年同期比6.9%となり、特に豚肉の上昇率は56%に達した。1～11月のCPI上昇率は4.6%であり、抑制目標の3%を大きく上回った。

1～11月期の都市部固定資産投資伸び率は前年同期比26.8%、不動産開発投資伸び率は同31.8%となっている。特にプロジェクト新規着工件数、総投資計画額が伸びた。住宅等の価格も70の中堅以上の都市部で10月に前年同期比9.5%（新規建設分で10.6%）と高い上昇を示した。マネーサプライのうちM2の伸びは11月末時点で前年同期比18.45%（目標は16%）、金融機関の貸出の伸び同17%となっている。

こうした状況を受けて、中央銀行の金融政策は「穏健」から「引き締め気味」へと大きく転換した。2007年において中国人民銀行は、経済の急成長や、物価上昇などインフレを防ぐために、金利は6回、預金準備率は10回引き上げた。

次に、東北三省の経済についてみてみよう。2007年1～9月期のGDP成長率では遼寧省15.1%、吉林省16.5%、黒龍江省12%のプラスとなって、全国平均成長率の11.5%を上回っている。

遼寧省の1～9月の工業生産額は前年同期比22.4%増加した。特に設備製造業は好調で34.3%伸びた。主要製品の生産量は、乗用車が100%、NC旋盤が44.1%、その他の自動車が41.2%と大きく増加した。また、「5点1線」戦略の推進に伴って、遼寧省の対外開放は新たなステージを迎えた。

1～9月、同省の対外貿易の輸出入総額は433.4億ドルに達し、前年同期比で24.7%伸びた。そのうち、輸出は261.1億ドル、29.4%増、輸入は172.2億ドル、18.1%増となった。遼寧省の外資直接投資も急速に伸び、1～9月までで累計68億ドル、同期比94.2%増加した。

吉林省では、自動車部品の生産やトウモロコシ加工などの分野に外国投資が集中し、不動産開発投資も大きく増加

した。固定資産投資は1～9月で前年同期比42.2%伸び、成長率は全国において第3位となった。対外貿易は同24.7%増、総額は73.2億ドルとなった。

このうち、大手の輸出企業は良好で顕著な輸出増を示し、伸び率は過去の記録を更新した。1～9月、「吉林食糧集団」、「延辺農光」、「通化鋼鉄集団」、「琿春華源世通」、「吉恩ニッケル業集団」など企業の輸出は前年同期に比べ大幅に増え、伸び率は100%以上となり、特に「一汽集団」の輸出はほぼ2倍を達成した。

黒龍江省経済は、対外貿易の大幅増加が注目されている。1～9月、黒龍江省の輸出入総額は131.8億ドルで37.5%伸びた。特に対ロシア貿易は急速に成長、1～9月に黒龍江省の対ロシア貿易輸出は84.3億ドル、75.7%伸び、全省輸出入総額のうち64%を占めた。これは中口貿易全体の24.1%を占め、記録更新となった。

また、服装、自動車産業などの商品輸出が好調で、1～9月の服装輸出額は41億ドル、112.5%増、自動車（シャーシを含む）輸出額は1.8億ドル、122.2%増となった。その他、医薬品は137.7%、鋼材は246%、ベニヤ板は163.9%、懐中電灯は253%と伸びた。

インフレ阻止が中国マクロ経済調整策の最重要な課題に

経済運営のリスク拡大に伴って、中国中央政府は懸命に経済を引き締め、五輪後の経済が軟着陸できるようコントロールを強めている。

中国共産党中央政治局は2007年11月27日に国内経済情勢を分析する会議を開催、今後のマクロ経済調整策の最重要課題を「過度の経済成長を防止し、構造的な物価上昇が明確なインフレに移行することを阻止する」と位置付けた。

2007年12月3日～5日まで開催した2008年中央経済工作会議でも、経済過熱とインフレ阻止をマクロ経済政策の当面の目標として、2008年は穏健な財政政策と引締めの通貨政策を実施することを決めた。金融政策では銀行貸付け総量を規制、また、新規建設プロジェクトの件数制限のほか、穀物や食用油、肉類など生活に密着した製品の価格上昇に関する監督を強化することとした。財政支出では項目を調整しながら、社会保障や衛生、教育関連支出を適宜増やすなどの方針を決めた。

このような調整政策が経済成長や株価・不動産のバブル傾向抑止にどれほどの効果があるか、2008年前半の経済動向が注目される。

（ERINA調査研究部客員研究員 禹頌子）

	2004年				2005年				2006年				2007年1～9月				
	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	
GDP成長率	%	10.1	12.8	12.2	11.7	10.2	12.3	12.0	11.6	10.7	13.8	15.0	12.0	11.5	15.1	16.5	12
工業総生産伸び率(付加価値額)	%	16.7	23.4	18.6	13.0	16.4	20.1	11.0	15.3	16.6	20.0	18.5	15.2	18.5	22.4	22.5	16.0
固定資産投資伸び率	%	25.8	43.1	20.9	22.1	25.7	40.1	53.8	25.4	23.9	34.8	55.6	29.1	25.7	35.5	42.2	27.9
社会消費品小売額伸び率	%	13.3	13.4	12.8	13.0	12.9	13.5	13.5	13.0	13.7	14.5	14.7	13.5	15.9	16.8	18.6	16.2
輸出入収支	億ドル	319.8	34.0	33.6	5.7	1,019.0	58.6	15.9	25.7	1,775.0	82.5	19.2	40.2	1,857.0	88.8	20.3	54.5
輸出伸び率	%	35.4	29.8	21.4	28.1	28.4	23.9	43.9	64.9	27.2	20.8	21.5	38.9	27.1	29.4	30.5	50.4
輸入伸び率	%	36.0	30.1	28.0	26.7	17.6	13.4	20.0	12.6	20.0	14.2	21.1	26.3	19.1	18.1	21.6	13.8

（注）前年同期比

鉦工業生産伸び率は国有企業及び年間販売収入500万元以上の非国有企業の合計のみ。

固定資産投資伸び率は中国における社会全体の数値。

（出所）中国国家统计局、黒龍江省統計局、中国商務部、遼寧省商業庁、各種新聞報道より作成。